

マチと共に生きる 取り組み報告 2015



私たちは“みんなと暮らすマチ”を
幸せにします。

株式会社 ローソン

事業サポート本部

〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号

ゲートシティ大崎 イーストタワー

<http://www.lawson.co.jp/>



B-(2)-060001

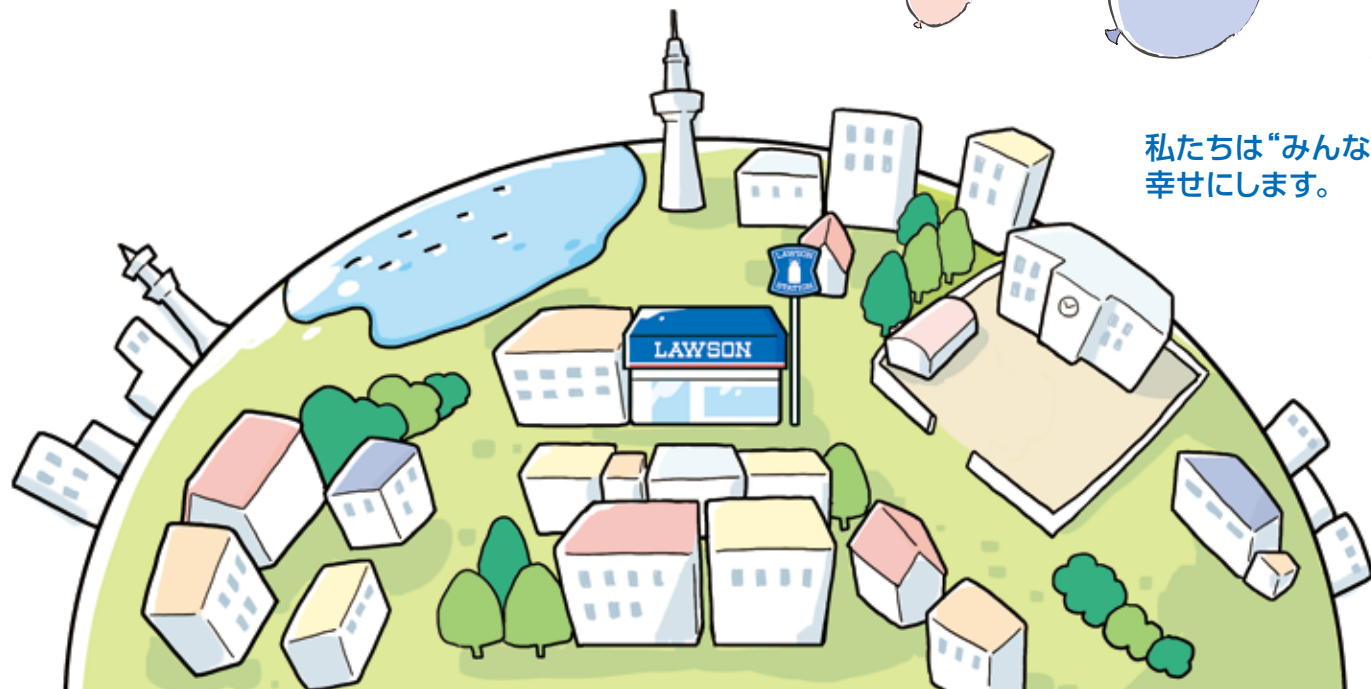


P05-0002

2015年8月発行

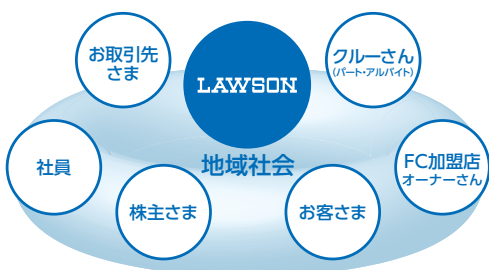
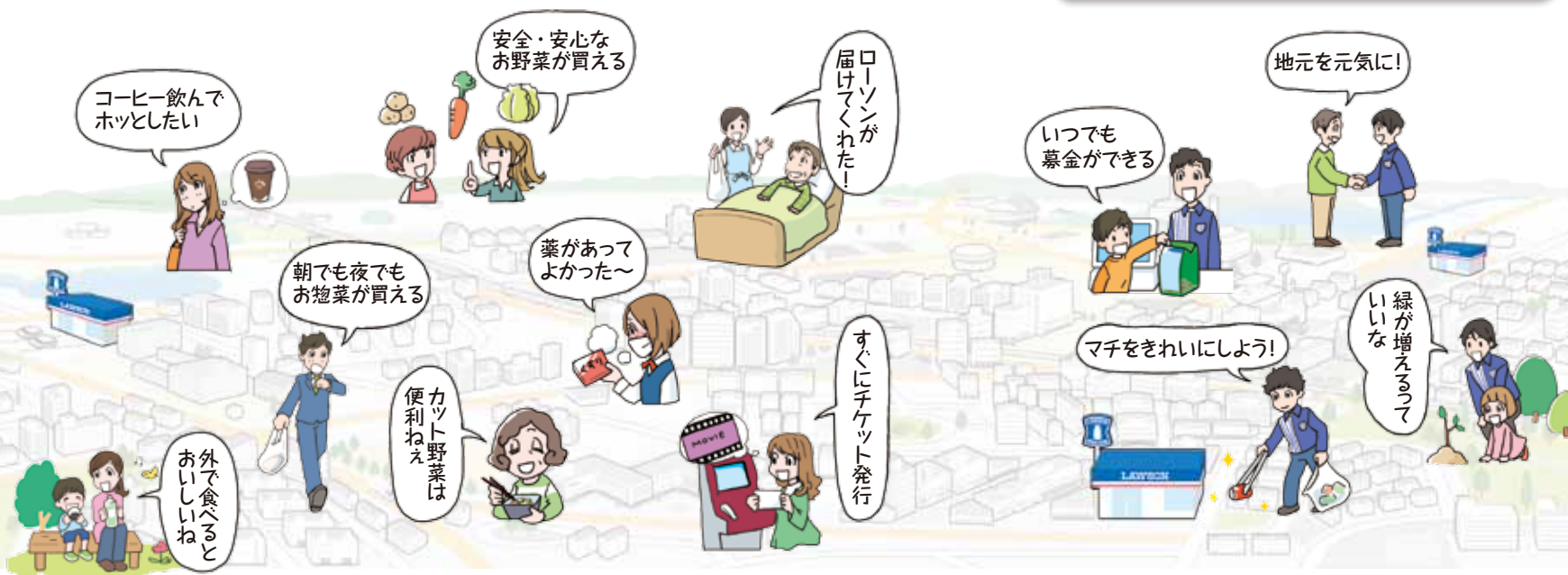
次回発行2016年8月予定

© 1975-2015 Lawson, Inc. All rights reserved.



私たちは“みんなと暮らすマチ”を 幸せにします。

これがローソングループの企業理念です。
私たちはマチにあるいろいろな問題を解決し、
お客さまからのさまざまな要望にお応えすることで、
マチに暮らす皆さまの幸せを支えています。



ローソンを取り巻くマルチステークホルダー

ローソンのビジネスは、マチ（地域社会）全体を含む7つのステークホルダー（ローソンを取り巻く関係者）とともに成り立っています。お客さまの身近にあるお店として、ローソンならではの新たな価値を提供し、さまざまなマチの課題を解決していきます。

ローソングループ環境方針 基本理念

私たちローソングループは、豊かな地球の恵みを次世代へ引き継ぐため、常に環境に配慮した事業活動を行うとともに、地域社会との共生と持続可能な発展に向けて積極的に行動します。

方針

1. 低炭素社会の構築に向けて
2. 商品・サービスなどの開発における配慮
3. 社会貢献活動への積極的な参画
4. 継続的な改善の実施
5. 法令等の遵守
6. コミュニケーションの推進

目次

特集／MACHI café(マチカフェ)

- おいしさへのこだわり ……P3
- 品質管理と社会・環境保全への取り組み ……P5
- コーヒー豆ができるまで ……P7

社会への取り組み

- もっと“みんなとマチ”を幸せに ……P8
 - おいしい健康
 - ・健康商品の開発 ……P9
 - ・ローソnfarm ……P10
 - 健康・安心をサポート
 - ・セルフメディケーション・サポート ……P11
 - ・お客さまに一步近くお届けサービス ……P12
 - もっと・マチを元気に
 - ・地方自治体との包括協定 ……P13
 - ・大規模災害への対応 ……P15
 - ・東北の復興を支援 ……P16
 - ・ローソングループ“マチの幸せ”募金 ……P17

環境への取り組み

- グループ全体でマチの環境にやさしく ……P18
 - 商品の開発・製造から配送まで ……P19
 - 店舗の設備 ……P21
 - 店舗の運営 ……P23
 - ・環境関連表彰履歴 ……P25
 - サプライチェーンにおける環境への配慮 ……P29
 - 地域社会の一員として ……P31
 - ・環境にやさしいお店づくり(図解) ……P32

企業情報

- 会社概要 / 店舗展開エリア ……P33
- グループ企業情報 ……P34

ローソンのコミュニケーション媒体

統合報告書

地域に根ざしたローソングループの事業活動と将来への持続的成長ストーリーを紹介しています。



マチと共に生きる 取り組み報告

マチの社会・環境課題に取り組む活動を理解しやすいよう、できるだけ平易な言葉を使用してお知らせしています。

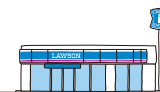


財務セクション

当年度の業界動向と経営施策、財務状況について報告しています。業績の評価及び分析を行うとともに、次年度の見通しにも言及しています。



ホームページ 冊子に紹介しきれなかった情報、データを掲載しております。



すべては、お客さまの「おいしい笑顔」が見たいから

コンビニの常識を超えたこだわりが、MACHI caféのおいしさを支えています。



豆へのこだわり

焙煎へのこだわり



接客へのこだわり

ミルクへのこだわり



コーヒーマシンへのこだわり



お客さまの声

(コンビニコーヒーの中で)セルフ式が多いようですが、意外と面倒なのでコーヒーはローソンと決めています。

手で渡してもらえるのはローソンだけ。ただ買うだけよりも温かさが感じられ、すごく気分がいいですね。

気軽に寄って、おいしいコーヒーを淹れてもらい、そのまま散歩。私の日課です。

仕事の途中にホッとしたい時の至福の一杯となっています。

MACHI caféは“こころ”も一緒に淹れています。

ローソンが提供する店内淹れたてコーヒーサービス「MACHI café(マチカフェ)」は、マチでほっと一息つけるひとときを提供したいとの思いから始めました。それは、コーヒーそのもののおいしさ、おもてなしの心でお客さまをお迎えすること、この2つが揃ってこそ実現すると私たちは考えています。

心で感じるおいしさ.....接客の印象で、お客さまの感じる味わいも変わってくるもの。だから、一杯一杯ていねいにコーヒーを淹れ、お客さまと会話をしながら手渡しています。「おもてなしの心」を何よりも大切にしています。

舌で感じるおいしさ.....コンビニの常識を打ち破る味わいを求めて。MACHI caféは、「豆」「焙煎」「ミルク」に、徹底的にこだわっています。



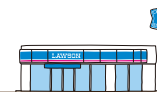
心のこもった接客をファンタジスタから

MACHI caféに関する知識が豊富で、お客さまにMACHI caféのこだわりや楽しみを伝えられるクルーさんを「ファンタジスタ*1」と呼びます。全国で約6,000名(2015年2月末現在)のファンタジスタが、心をこめた一杯でマチのお客さまをおもてなししています。



グランドファンタジスタ*2の皆さん

*1 ファンタジスタ:ローソン独自の資格制度で、年2回の認定試験に合格したクルーさんにその称号が与えられます。
*2 グランドファンタジスタ:リーダークルーであり、店舗審査などの基準を満たしたファンタジスタが支店内の選考を経て得られる資格。各支店のファンタジスタのなかでも特にレベルの高い方を選出。2015年2月末現在、全国で50名の方が選ばれました。



一粒のコーヒー豆から お客さまのもとにお届けするまで

～MACHI caféの品質管理と社会・環境保全への取り組み～

店内淹れたてコーヒーサービス「MACHI café」は、一粒のコーヒー豆からお客さまのもとにお届けするまで、豆をはじめ、ミルクや焙煎方法、抽出マシンなど、品質管理と社会・環境への配慮を徹底しています。お客さまに手渡しする一杯のコーヒーにはローソンのこだわりが詰まっています。



わしはローソンのことなら何でも知っているローソン博士じゃ。皆さんがこの本を読むお手伝いをして差しあげよう。

品質面

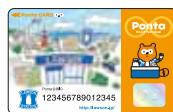
「接客」へのこだわりから誕生

ローソンのコーヒー実験販売店の中でも、コーヒーが特によく売れていたお店にMACHI caféの開発のヒントがありました。そのお店は接客が素晴らしくお客さまとの信頼関係ができていました。そこでセルフ式ではなく「to-order」にこだわるMACHI caféの方向性が決定。コーヒーを抽出するマシンや販売体制の検討が始まりました。



お客さまの求める味を追求

お客さまに最適な味を求めてPontaカードのデータを徹底分析。ブレンドコーヒーは忙しい仕事の合間に「一息つきたい」と感じる中高年男性に、カフェラテは女性に人気がある——といったデータをもとに商品化していきました。



農園・生産地域を指定

ブレンドコーヒーは、一粒のコーヒー豆から出荷までしっかり管理ができる5つの国の指定した農園・生産地域の豆(アラビカ種)を使用することで、高品質で甘みを伴ったフルーティーな酸味と深いコクを実現しました。



焙煎・ミルクへのこだわり

それぞれの豆に最適な焙煎方法で豆の個性を引き出したあとにブレンドするアフターミックス製法を採用。カフェラテのミルクには生乳*のみを使い、ミルク本来のコク・甘みが味わえるようにしています。
*生乳は加熱殺菌しています。



本場のマシンをカスタマイズ

エスプレッソの本場イタリアの全自動マシンをMACHI café用にカスタマイズ。最大16個のメニュー設定が可能で、カフェラテや抹茶ラテなどのバラエティに富んだメニューは女性のお客さまを中心に大好評をいただいています。



社会・環境面

安全・安心、環境にも配慮

商品開発に当たっては、味わいや品質へのこだわりのみならず、社会や環境面で配慮するように努めています。お取引先にも商品の安全・安心はもちろんのこと、人権や環境への配慮等をお願いしています。



商品開発

レインフォレスト・アライアンス認証 農園産コーヒー豆のみを使用

環境・労働者に配慮したレインフォレスト・アライアンス認証農園産のコーヒー豆のみを使用しています。この認証は、環境保全や農園労働者の生活向上など厳しい基準を満たした農園に与えられます。
※シングルオリジンシリーズ、ドリップバッグを除く。



原材料調達

コーヒーかすをリサイクル

焙煎工程では豆を覆っている薄皮やコーヒーかすが廃棄物として排出されます。これらは肥料や牛の寝床にリサイクルしています。



製造

タンブラー持参でお得&エコ

タンブラーをお持ちになったお客さまには、ドリンクメニュー(一部を除く)を10円引きでご提供。お客さまご自身のごみ(紙カップ)を減らすことにもつながります。



販売

一粒のコーヒー豆を大切に作る気持ち、それがMACHI caféのおいしさです。

MACHI caféのおいしさは、コーヒー豆を生産する農園選びから始まっています。品質はもちろん、農園で働く人、環境までも考慮してMACHI caféの一杯は生まれます。

イパネマ農園(ブラジル)編 MACHI caféのコーヒー豆ができるまで!



〈イパネマ農園の取り組み〉

社会貢献1
イパネマ森林再生プロジェクト
計画的に植樹を行って、現在では約2,000haが自然保護区域となっています。



社会貢献2
インスティテュート活動
従業員の子どもたちを受け入れ、学校の補習やスポーツ活動などを支援しています。



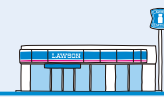
MACHI caféコーヒーは、レインフォレスト・アライアンス認証を取得した農園の豆のみ※使用しています

※シングルオリジンシリーズ、ドリップバッグを除く。

レインフォレスト・アライアンスは、1987年に設立された国際的な非営利の環境保護団体です。環境保全や砲煙労働者の生活向上など厳しい基準を満たした農園に認証が与えられます。つまり、レインフォレスト・アライアンス認証を取得している農園のコーヒー豆を使用するMACHI caféコーヒーは、環境と社会にもやさしいコーヒーと言えるのです。

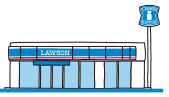


もっと“みんなとマチ”を幸せに



ローソンは、「健康に配慮した食品の開発・販売」「お客様の健康管理や医薬品取り扱い」「地域の産品・食材の拡販」「子育て・青少年支援」などさまざまな側面からマチと皆さまをサポートしています。





「おいしい」ことを我慢せずに、安全・安心な「食」を通じて、お客さまに心も体も元気になっていただきたい。ローソンは、カロリー・糖質・塩分などに配慮した食材や商品を提供することで、あらゆる世代に健康をお届けしたいと考えています。



10のテーマで健康商品を開発 「おいしい」にこだわって 心も体も元気に

ローソンは、「野菜を食べよう」「おいしい低糖質」など10のテーマで健康商品を開発しています。毎日食べたいサラダや野菜、メーカーと共同開発した低糖質のブランパン、健康飲料や健康菓子、栄養バランスを考えたお弁当など、毎日の食を通して、あらゆる世代に健康をお届けしたいと願っています。

●おいしい低糖質



注)掲載商品は一例です。販売を終了している場合があります。

低糖質・低カロリーで体にやさしいブランパン

小麦粉に比べ糖質が少なく、食物繊維が豊富なブラン(穀物の外皮)を使用したブラン商品。低糖質・低カロリーでも腹もちがよく、ふんわり、しっとり食感の香ばしいパンです。

●野菜を食べよう



●ナチュラルローソン健康シリーズ



●栄養バランスを考えた弁当



注)掲載商品は一例です。販売を終了している場合があります。

健康商品の開発 10の取り組み

- 1 野菜を食べよう
- 2 おいしい低糖質
- 3 素材のおいしさを食べよう
- 4 塩分控えめ
- 5 うれしい低カロリー
- 6 良質なたんぱく質を摂ろう(魚・大豆)
- 7 腸内環境を整えよう(乳酸菌)
- 8 良質な脂質を摂ろう
- 9 添加物削減(保存料・着色料)とアレルギー対策
- 10 機能性成分を手軽に摂ろう



安全・安心・高品質な新鮮野菜の供給を目指す 「ローソンファーム」を全国に拡大

人々の健康な食生活を支える、安全・安心で高品質な新鮮野菜や果物をローソングループの各店舗に安定的に供給するため、農業生産法人「ローソンファーム」を全国に拡大中です。全国のローソンファームの産地リレーで新鮮な野菜を周年調達ができる体制を目指しています。このほか、有機・低農薬農産物の取り扱いで先行する「大地を守る会」「らでいっしょぼーや」とも提携しています。

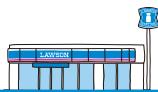


健全な野菜は健康な土づくりから

ローソンのカット野菜(一部商品、地域を除く)は、「中嶋(なかしま)農法」でつくられた農作物を使用しています。ミネラルバランスを整えてつくった健康な土で健全な野菜を育てる農法で、自社専用農場「ローソンファーム」への導入も始めています。



健康・安心をサポート



ローソンは、「セルフメディケーション・サポート」として、医薬品の販売や介護事業者がFC加盟店オーナーとなる店舗出店、自治体との連携からスポーツイベントの開催まで、マチの人々が自ら健康を維持・管理できるように幅広く支援しています。

調剤薬局チェーンと提携 調剤薬局併設型店舗を拡大



大手調剤薬局チェーンのフオール株式会社、佐賀県と福岡県で調剤薬局・ドラッグストアを展開する株式会社ミズなどと共同で、調剤薬局併設型店舗の出店を進めています。2015年5月末日現在で、約40店舗を展開しています。

介護サービス会社と提携 お店にケア(介護)拠点を併設



地域密着型の幅広い介護サービスを展開する株式会社ウイズネットと提携し、介護をテーマとしたケア(介護)拠点併設型店舗「ケアローソン」を開発。居宅介護支援事業所やサロンスペースを併設し、介護事業者やケアマネージャーを常駐させ、介護相談窓口も設けています。2015年4月に1号店、8月に2号店を埼玉県内にオープンしました。

自治体と健康づくりで連携を強化 地域の健康施策をバックアップ

兵庫県尼崎市(2013年10月)、長野県松本市(2013年11月)、佐賀県佐賀市(2014年8月)、福岡県久留米市(2015年3月)と健康づくりに関する協定を締結し、地域の健康施策を支援しています。

OTC医薬品(市販薬)取り扱いを強化 お薬のあるお店で安心をサポート



2009年の改正薬事法施行による「登録販売者制度」の導入に伴い、通常のお店でのOTC医薬品(市販薬)の取り扱いを強化しています。調剤薬局併設型店舗を含め、2015年5月末日現在で100店舗に達しています。



健康づくりを応援 市民参加型スポーツ大会を開催



マラソンやトライアスロンといった市民参加型スポーツ大会を開催するほか、スポーツクラブを運営する(株)ルネサンスと提携し、皆さまの健康づくりをサポートしています。



お客さまに一步近づくお届けサービス

いろいろなスタイルで“みんなとマチ”に 幸せを運んでいます

宅配便と共同での商品お届けサービス、高齢者や買い物困難者の方のために自治体・団体等とともに移動販売や注文配達を実現。ローソンは常にお客さまの立場に立ったサービスで皆さまに幸せを運んでいます。

限界集落へ

店舗を拠点に限界集落での移動販売・注文宅配サービスを実施

店舗へご来店いただくことが困難な高齢の方々や、遠方にお住まいで買い物が困難な方々を対象に、食品や生活用品などの移動販売や注文販売を実施しています。移動販売の際に、高齢者世帯の方々へ「お変わりありませんか」「食事は取れていますか」などの声かけをし、安否確認を行う「地域見守りサービス」も行っています。

● やまびこローソン神石高原町店 (広島県神石郡神石高原町)

神石高原町と提携し、限界集落にある「道の駅」への出店で、高齢化・過疎化が進む地域のインフラ機能を維持しています。移動販売の実施のほか、限界集落維持に向けた地域のコミュニティセンターの役割も担っています。



神石ふれあいローソン号



ローソンのやまびこ神石高原町店

● ローソン佐賀吉野ヶ里店 (佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)

社会福祉法人吉野ヶ里町社会福祉協議会と提携し、2015年4月1日から移動販売を開始しました。ローソンの商品を中心に、食品や生活用品など約300品目を取り扱っています。



野菜や生鮮品、魚(加工品)なども取り扱っています。



いらっしやいませ!!



そしてまた、販売車は次のマチへ向かいます。

お宅へ

ローソンお届けサービス

電話などでご注文を受け、商品をご自宅までお届けしています。商品は、お弁当やおにぎりから、飲料などの重いもの、トイレトーパーパーなどのかさばるものまで、700円から無料で配達しています。

いろいろな場所へ

ローソン出張販売サービス

お菓子や飲料、果物、日用品などを豊富に揃えたお店が高齢者施設や企業、多目的ホールなどにお出がまし、商品を販売しています。

SGホールディングスと業務提携し新たなサービスを提供

ローソンはSGホールディングス株式会社と共に、2015年6月、マチに根ざした小商圏配送・御用聞きを行うSGローソン株式会社を設立し、同月より東京都世田谷区にてサービスを開始しました。



注)これらのサービスは一部の店舗で実施しているサービスです。

もっと・マチを元気に

ローソンは、地産地消^{*}の推進、セーフティステーション活動への参加、大規模災害への対応や復興支援、“緑”と“子どもたち”を支援する店頭募金など、各種の活動を地域や地方自治体と密接に連携を取りながら実践しています。

*地産地消：地域で生産されたものをその地域で消費する取り組み



地方自治体との包括協定の締結 全国のお店を通じてマチを元気に

ローソングループは、全国の自治体と包括協定を結び、地域に密着したお店の運営や商品開発、環境保全、子育て支援などの地域貢献活動を進めています。日本各地に広がる約12,000の店舗ネットワークの力で、日本中のマチを元気にしていきます。

地元の産品・食材の拡販

日本各地の地域の食材や特産品を使用して商品を開発・販売し、地産地消を実現。地域の活性化に取り組んでいます。



注）掲載商品は一例です。販売を終了している場合があります。



災害対策については次ページに書いてあるぞよ

たとえば滋賀県では…
県政の広報ラックを県内40店舗に設置

滋賀県の観光振興・PRのため、県政を広報する専用ラックを県内40店舗に設置し、さまざまな情報を発信しています。



たとえば東北5県では…
子育て家庭に「子育て支援クーポン」を発行

青森、岩手、秋田、山形、福島県の東北5県で「子育て支援クーポン」を発行。未来を担う子どもたちとそのご家庭を支えていくために、子育て中のお客さまをサポートしています。



たとえば鳥取県では…
青少年育成のために、鳥取県の体育大会に協力



県内の青少年を対象にスポーツの競技力向上、正しい技術の習得や心身の鍛錬を行う体育大会(主催:公益財団法人鳥取県体育協会)に協力。青少年の健全な育成を支えています。

たとえば富山県では…
富山県内の約180店舗が「とやまエコ・ストア制度」に参加



空調温度を夏季は27℃、冬季は18℃に設定するほか、お客さまへの声かけで不要なレジ袋の削減を図るなどの取り組みを実施。県民の皆さまとともにエコライフを推進しています。

皆さまに安全・安心な店舗へ ～セーフティステーション活動～

- 振り込め詐欺の防止
店舗従業員の機転で、ATMの操作に手を取っていたお客さまに声をかけたことから振り込め詐欺を防止した事例や、「お金を送りたい」とお申し出になったお客さまに事情を伺ったことから還付金詐欺が判明した事例などがあります。
- 急病人や高齢者の保護
- 地域防犯・防災活動への協力



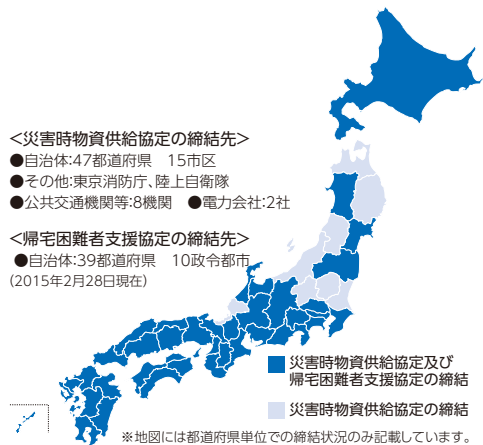
もっと・マチを元気に

大規模災害への対応

マチを守るライフラインを目指して

大規模な災害が起きた場合、暮らしに必要なライフラインの一つとして、被災地にあるお店も、できる限り営業を続けるよう努力します。また、「災害時物資供給協定」や「帰宅困難者支援協定」を全国の自治体や一部の公共機関と締結し、コンビニエンスストアとしての社会的役割を担っています。

- <災害時物資供給協定の締結先>
 - 自治体:47都道府県 15市区
 - その他:東京消防庁、陸上自衛隊
 - 公共交通機関等:8機関 ●電力会社:2社
- <帰宅困難者支援協定の締結先>
 - 自治体:39都道府県 10政令都市 (2015年2月28日現在)



災害救援募金で被災地の復興を支援 皆さまの善意を被災地に

大規模な災害が発生した際、店頭募金を災害救援募金に切り替え、被災された皆さまに全国のお客さまからの善意をお届けしています。お寄せいただいた義援金は、各地の災害対策本部や日本赤十字社などを通じて被災された皆さまにお届けしています。



2015年ネパール地震救援募金の寄託式

■ 2014年度以降の災害救援募金実績 (2015年7月末日現在)

募金名	地区	期間	義援金額
2015年ネパール地震救援募金	店頭募金箱: 全国のローソングループ店舗*1 12,056店	2015年5月1日～5月18日	3,445万763円
	Loppi募金*2	2015年4月28日～6月30日	568万6,000円
	Pontaポイント募金		27万1,662円
広島市大雨災害義援金募金	全国のローソングループ店舗 11,922店	2014年8月22日～9月15日 ※8月22日～9月1日は広島県内のローソン店舗のみで実施	3,009万1,901円

※1 ローソングループ:ローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100
 ※2 Loppi募金はローソンのLoppi設置店舗のみ

Loppi募金

お客さまが寄付したい団体を選んで募金ができるよう、店頭マルチメディア情報端末「Loppi (ロッピー)」を通じた募金の受付を開始しました。大規模災害発生時には義援金の受付を速やかに実施できるようになりました。注)義援金の受付は期間を限定して実施しています。



上のQRコードをLoppiのバーコードリーダーにかざすと、すぐに募金メニューにアクセスできます。



東北の復興を支援

被災地の復興のために支援を続けています

東日本大震災から4年以上が経ちましたが、被災地はいまだに復興の途上にあります。ローソングループでは、被災地への出店をはじめ、東北の食材を使用した商品の開発、雇用の提供、被災した学生の方の就学を支援する募金活動など、多角的な視点から被災地の方々への支援を継続しています。

詳細はHPへ

www.lawson.co.jp/company/activity/



お店で

福島県浪江町で初めて営業を再開。地域のコミュニティの場に



2014年8月オープン ローソン浪江町役場前店
 福島県浪江町内で初めて営業を再開した小売店舗。地域の方のコミュニティの場にもなっています。

復興支援企画「えがおステーションプロジェクト」。「親子の絆」をテーマに岩手県で開催



2015年は岩手県で地産地消商品の販売や親子で楽しむスポーツ教室などを実施しました。2016年もこのプロジェクトを継続し、東北で実施する予定です。

商品で

東北産の原料を使用した商品を販売し、売上の一部を「夢を応援基金(東日本大震災奨学金制度)」に寄付



気仙沼産フカヒレ あんかけ炒飯



宮農パン ブルーベリー&ホイップ



福島県産桃のタルト



詳細はP17へ

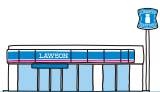
マチで

県外避難者の方を対象に、就労分野で生活再建を支援

ローソンは、県外避難者への支援活動を行っている一般社団法人FLIPと協力して、東日本大震災により自県外で避難生活を送る被災者の方々への就労支援を実施しています。ローソングループの人材紹介会社ローソンスタッフ株式会社を通じて、店舗や関連企業の仕事を紹介しています。



もっと・マチを元気に



“緑”と“子どもたち”を支援

「ローソングループ“マチの幸せ”募金」

ローソングループは“緑”と“子どもたち”への支援を中心に募金活動を推進しています。店頭募金に寄せられたお客さまの善意は、ローソン本部の寄付金と合わせて3つの公益団体に寄付され、全国の学校を中心とした緑化活動と、東北の復興に向けた子どもたちへの支援などに役立てられています。

「ローソングループ“マチの幸せ”募金」
累計総額 約75億円

(1992年9月～2015年2月末日累計)
寄付金額には、店頭募金に加え本部寄付金やLoppi募金、Pontaポイントによる寄付金等が含まれています。

ローソン緑の募金

「ローソン緑の募金」
～活動実績～

募金総額 約36.6億円
活動地域 3,741箇所
緑化面積 約6,771ha
緑化本数 約1,692万本

緑化面積・本数は、「ローソン緑の募金」総額及び「緑の募金」全体の活動実績から、一定の仮定のもとに算出したものです。
(1992年9月～2015年2月)

全国の小学校・中学校や特別支援学校を中心とした学校環境緑化活動、ボランティア団体等が実施する国内外の森林整備や緑化事業などを支援しています。

寄付先:公益社団法人 国土緑化推進機構

緑化貢献事業への参加
「ローソン緑の募金」を活かした緑化貢献事業に、FC加盟店オーナーや店長、店舗スタッフ、ローソン本部従業員なども参加。



山での活動の様子



学校での活動の様子

夢を応援基金

(東日本大震災奨学金制度)

寄付先:公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)



奨学生の皆さんを対象に交流会を開催
写真提供:(公社)Civic Force

「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度)は、東日本大震災で被災した学生の皆さんを支援する奨学金プログラムです。1,097人の奨学生に月額3万円の奨学金の支給を行い、皆さんの夢を応援しています。

TOMODACHI募金

(東北学生 教育・日米交流支援)

寄付先:公益財団法人米日カウンシル—ジャパン



TOMODACHI女子高生キャリアメンタリングプログラム in福島

日米の教育・文化交流や、東日本大震災からの復興支援、次世代リーダー育成を進めている官民パートナーシップTOMODACHIイニシアチブ。TOMODACHI募金の収益金で、東北の学生の教育・文化交流を支援しています。

小学生がコンビニの仕事を体験

体験型学習施設「スチューデントシティ」に出展

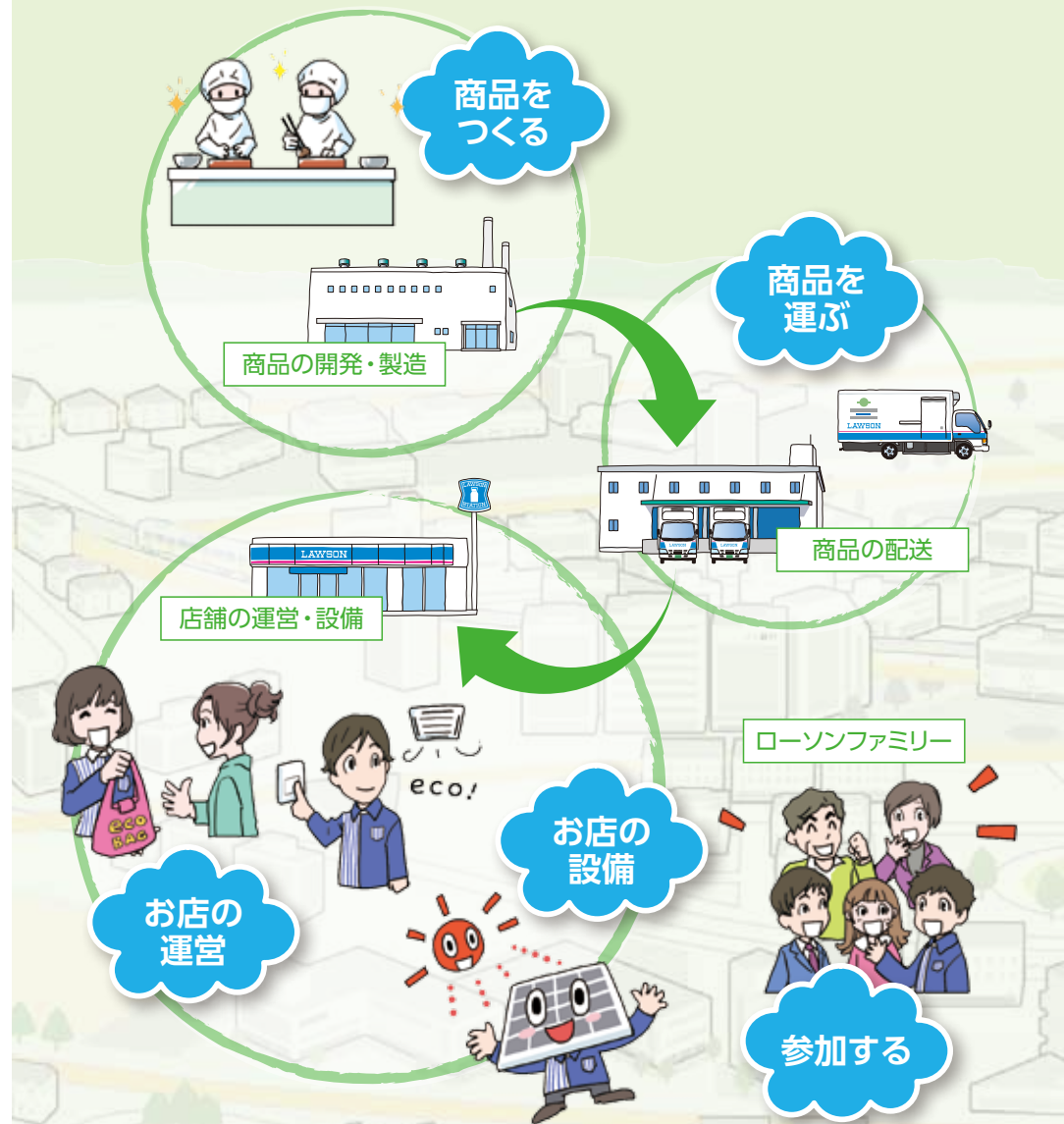
ローソンは、京都市と仙台市の教育委員会と公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が開設している体験型学習施設「スチューデントシティ」にブース(体験店舗)を出展。これらの施設ではローソンの他、銀行や新聞社など協賛企業の店舗や事務所を模したブースで小さな「街」を再現しており、小学生高学年の児童が接客など仕事の体験を通じて、社会や経済の仕組み、社会と自分のかかわりなどを学んでいます。



グループ全体で マチの環境にやさしく



ローソンは、商品の開発・製造・配送から店舗の設備・運営にいたる全ての場所と過程で、環境に配慮して事業活動を行っています。



商品の開発・製造から配送まで



商品の開発・製造・配送の過程では、容器包装の工夫による省資源、生産加工管理システムによる原材料のムダな廃棄の削減、原材料や商品の輸送エネルギー削減などさまざまなところで環境に配慮しています。



国産原料を活用した商品開発 原材料の輸送エネルギー の消費を削減

商品をつくる

国産の旬の食材を活かした弁当やおにぎり、デザートなどの商品づくりを進めています。これにより地域の活性化につながるとともに、外国産の原材料を使用するよりも輸送距離が短くなり、かかるエネルギー消費を少なくすることができます。



兵庫のうまい!
明石たこのたご飯



郷土のうまい!
北海道の幸 鮭いくら弁当



すいかの杏仁豆腐
(三浦半島産
味すいかトッピング)

フード・アクション・ニッポン アワード受賞



ローソンは、国産食材の消費拡大に寄与していることが認められ「フード・アクション・ニッポン アワード」流通部門最優秀賞を2013年度、2014年度の2年連続で受賞しました。 国産若鶏100%使用の「からあげコン」▲



容器包装における環境配慮

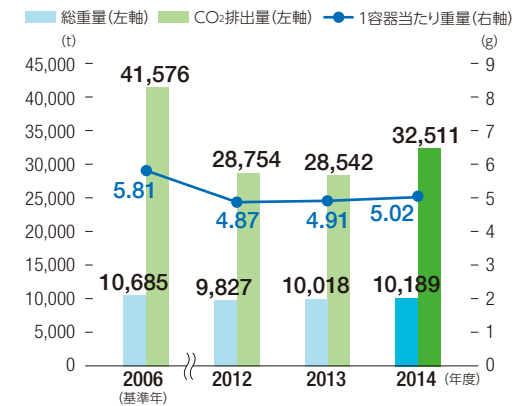
植物由来の容器包装や軽量化によりCO₂排出量を削減

弁当のラップフィルム包装をフタの周囲だけにすることでCO₂排出量を40%削減。冷やし麺類の容器にはサトウキビ由来の樹脂を一部使用したバイオPET樹脂を採用しています。

バイオPET樹脂を使用した冷やし麺類の容器



●容器包装重量及びCO₂排出量の推移



ムダを出さない製造体制 生産加工管理システムの導入

製造段階では、原材料の投入量、出来高量、盛り付け量など、すべてグラム単位で計量して商品を製造する「生産加工管理システム」を導入し、廃棄物を削減しています。



商品を運ぶ



優秀なドライバーを対象にした表彰を実施

物流の環境推進 効率的な配送やエコドライブを推進

配送を効率的に行うため、共同配送の推進や納品頻度の適正化を図っています。また、トラックの燃費を向上させるため、エコタイヤを導入しています。さらに、運行状況を把握する運行管理システムを使ってエコドライブに努めるとともに、ドライバーを対象に、アイドリングストップの徹底や騒音の防止などの研修も行い、意識向上を図っています。

トラックの1店舗1日当たり平均台数

1989年度 16台

2014年度
7.0台



1店舗当たりの配送車輛によるCO₂排出量 (2007年度比 実績)

2012年度

23.8%削減

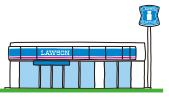
2013年度

22.8%削減

2014年度

24.2%削減

店舗の設備



ローソンの店舗では、CO₂冷媒使用の冷凍・冷蔵機器や太陽光発電システムなどの導入により電気使用量及びCO₂排出量を削減し、什器・設備の再利用によってムダを減らしています。

最新の設備を導入した省エネルギー実験店の取り組み 省エネ効果を検証し、全国の店舗に展開



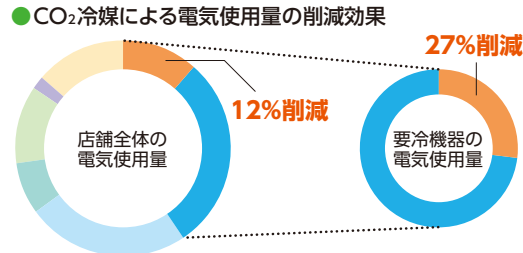
電気使用量
約**60%削減目標**
2010年度対比

店内の熱負荷を抑えるために、壁面緑化やコンビニエンスストア業界初の「店舗前面ガラスの二重化(ダブルスキン)」を採用するなど、次々と新しいことにチャレンジしているんじや



省エネルギー実験店舗「ローソン豊橋明海工業団地店(愛知県豊橋市、2014年11月オープン)」。最先端の技術を結集した省エネ機器により店舗全体の電気使用量2010年度対比約60%削減を目指しています。実験店舗により得られた知見は通常店舗への設備導入や新規設備の開発につなげ、更なる省エネとCO₂排出量削減を推進しています。

環境負荷低減・省エネ性能に優れた自然冷媒の採用 CO₂冷媒を使用した冷凍・冷蔵機器の導入



2010年度からCO₂冷媒を使用した冷凍・冷蔵機器の導入を開始し、2014年度で累計約580店舗に導入しました。CO₂冷媒は代替フロンと比較し地球温暖化への影響は約1/4000と低く、かつ高い省エネ効果も期待できます。

太陽光発電システムの導入 再生可能エネルギーの普及・拡大

太陽光発電システムの導入に取り組み、2014年度までに約2,000店舗に設置しました。売電用の10kW(5kW×2系統)と店舗使用の2kWの合計12kWの発電が可能です。

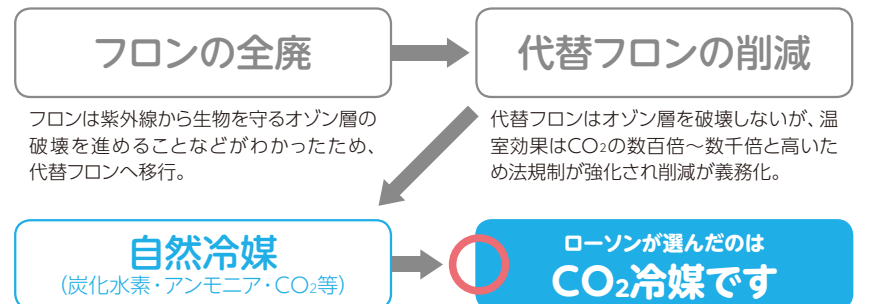


リユースセンターでの什器・設備の管理 店舗の什器・設備を再使用

店舗で改装や閉店があった際、一定の基準をクリアした什器・設備をリユースセンターで保管し、新規にオープンする店舗等で再使用しています。東西2カ所にリユースセンターを設置し、それぞれの什器・設備に管理ナンバーをつけてそれをもとに入庫・保管・転用を管理することで、地域を超えた転用を可能としています。



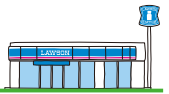
CO₂を冷媒に使うと何が良いの?



自然冷媒の中でもCO₂は、他と比べて安全性に優れています。

	炭素水素	アンモニア	CO ₂
燃焼性	大きい	大きい	なし
毒性	あり	あり	なし
安全性	×	×	○

電力使用量もCO₂排出量もフロン類の排出も、いっぺんに減らせるんじや



ローソンのお店では、2020年度までに1店舗当たりの電気使用量20%削減を目指し、要冷機器や空調機器を省エネタイプにするとともに、運転効率を向上させるため「省エネ10か条」を定め、実践しています。



2020年度までの 中期目標

1店舗当たりの電気使用量を2010年度比で

20%削減



お店の
運営

店舗の省エネを推進 「省エネ10か条」の取り組み

店舗に設置されている要冷機器や空調機器の運転効率を向上させ、店舗全体のムダな電気使用量を削減するため、「省エネ10か条」を定めています。各店舗は日々の業務のなかで要冷機器・空調機器のフィルター清掃や、エアコンの設定温度の順守などに取り組んでいます。

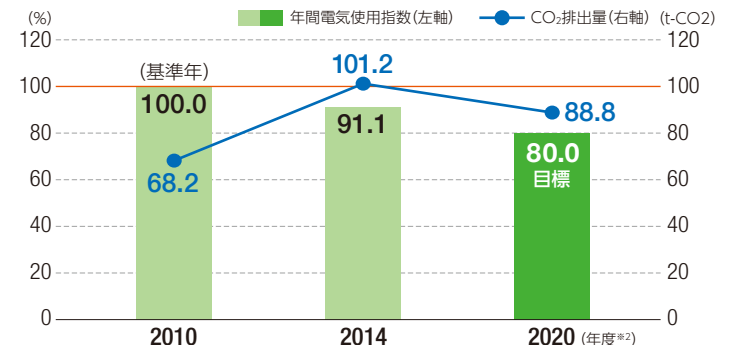


省エネルギー目標の策定

2020年度1店舗当たりの電気使用量20%削減へ

ローソンは、省エネタイプの要冷機器や空調機器、LED照明などの省エネルギー機器を積極的に導入し、省エネルギー目標の達成を目指しています。

●1店舗当たりの電気使用量(指数)とCO₂排出量^{※1}



※1 CO₂排出量は電気事業連合会で出している受電端の調整後係数を使用しています。2014年度、2020年度は2013年度の係数で試算しています。
※2 行政年度に合わせて4月1日から3月31日で算定しています。

- ① 週1回、要冷機器や空調機器のフィルター清掃
- ② エアコン設定温度
夏:27℃、冬:18℃、中間期:OFF
- ③ 商品搬入出時にウォークイン・業務用冷蔵冷凍庫の扉の開閉時間を削減
- ④ 要冷機器・空調機器の室外機周辺の整理整頓
- ⑤ 夏場の凍らせて販売する商品などは冷蔵保管してから補充
- ⑥ ホット飲料は常温で保管している商品を補充
- ⑦ 業務用冷蔵冷凍庫内への商品の詰め込みすぎに注意
- ⑧ 不在時のバックルーム・倉庫の照明・エアコンOFF
- ⑨ オープンケースのエアーカーテンを守った商品陳列
- ⑩ 業務用冷蔵冷凍庫の扉開閉回数の抑制



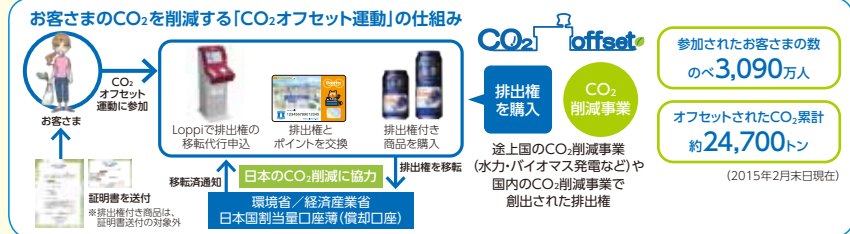
環境関連表彰履歴



年度	名称	対象	主催団体
2015年度	「第2回食品産業もったいない大賞」 「食料産業局長賞」	自然冷媒(CO ₂ 冷媒)活用等による地球温暖化防止の推進(MACHI cafeの取り組み含む)※	一般社団法人 日本有機資源協会
2014年度	「第4回カーボン・オフセット大賞」 「優秀賞」	「MACHI cafe ホットコーヒー・ カフェラテ」のカーボン・オフセット※	カーボン・オフセット推進 ネットワーク(CO-Net)
2014年度	「フード・アクション・ニッポン アワード2014」流通部門最優秀賞	・健康をキーワードにした国産原料使用の 商品開発(プランパン等) ・「からあげクン」の原料を国産若鶏100% 使用に変更	フード・アクション・ニッポン アワード2014実行委員会
2013年度	「荒川クリーンエイド」 感謝状・永年活動功労団体表彰	20年間の「荒川クリーンエイド」継続	特定非営利活動法人荒川ク リーンエイド・フォーラム、国 土交通省荒川下流河川事務所
2013年度	「フード・アクション・ニッポン アワード2013」流通部門最優秀賞	・農業生産法人「ローソンファーム」 ・国産食材を使用した商品の開発・販売(「郷土 ふるさと」のうまい!シリーズのお弁当等)	フード・アクション・ニッポン アワード2013実行委員会
2013年度	平成25年度地球温暖化防止活動 環境大臣表彰「対策技術先進導入部門」	省エネルギー実験店舗の展開及び CO ₂ 冷媒冷凍冷蔵システムの導入	環境省
2012年度	平成24年度地球温暖化防止活動環境 大臣表彰「対策技術導入・普及部門」	環境配慮の容器包装	環境省
2012年度	第15回「オゾン層保護・地球温暖化 防止大賞」『経済産業大臣賞』	自然冷媒(CO ₂)を使用した 別置き型ショーケース及び冷凍機の導入	日刊工業新聞社
2009年度	平成21年度地球温暖化防止活動 環境大臣表彰「対策活動実践部門」	CO ₂ オフセット運動※	環境省
2008年度	「平成20年度 容器包装3R推進 環境大臣賞」優秀賞	ケータイバッグ運動	環境省
2008年度	「eco japan cup 2008」 「ビジネス部門環境ビジネスアワード」 ソフト部門受賞	CO ₂ 排出権付商品※	有限責任中間法人環境ビジ ネスウィメン、株式会社三井 住友銀行、環境省、総務省
2008年度	「平成20年度リデュース・リユース・ リサイクル(3R)推進功労者等表彰」 経済産業大臣賞	ケータイ運動	リデュース・リユース・ リサイクル推進協議会
2007年度	「平成19年度 容器包装3R推進 環境大臣賞」奨励賞	ケータイ運動	環境省
2007年度	「平成19年度わたしがつくった マイバッグ環境大臣賞」奨励賞	コンビニecoバッグ	環境省
2006年度	「平成17年度省エネルギー優秀事例 全国大会」経済産業大臣賞	既存店への省エネ機器「エコパック」 「エコモニター」の導入	一般財団法人 省エネルギーセンター
2005年度	第16回みどりの文化賞	ローソン緑の募金	公益社団法人国土緑化推進機構
2004年度	平成16年度地球温暖化防止活動 環境大臣表彰「対策活動実践部門」	ローソン緑の募金と植樹活動	環境省

※ 下記の図解を参照

2015年7月末日現在



CO₂オフセットとは、自ら排出したCO₂を植林・森林保護・クリーンエネルギーなど他の場所で実現したCO₂排出削減量で埋め合わせる考え方です。

ローソンでは、共通ポイントカード「Ponta」で貯めたポイントを排出権と交換したり、排出権付き商品を購入したりしてお客さまの生活で発生するCO₂のオフセット(埋め合わせ)を支援する「CO₂オフセット運動」を推進しています。

環境への取り組み

店舗の運営



レジ袋削減への取り組み

お客さまへの声かけやポスター掲出でレジ袋を削減

店舗スタッフの声かけや店内放送、啓発ポスターの掲出、ケータイバッグの配布などによりレジ袋の削減に努めています。また、自治体で行っている「レジ袋削減キャンペーン」に参加し、レジ袋削減への協力を呼びかけるステッカーの掲出や適正なサイズのレジ袋の使用も推進しています。

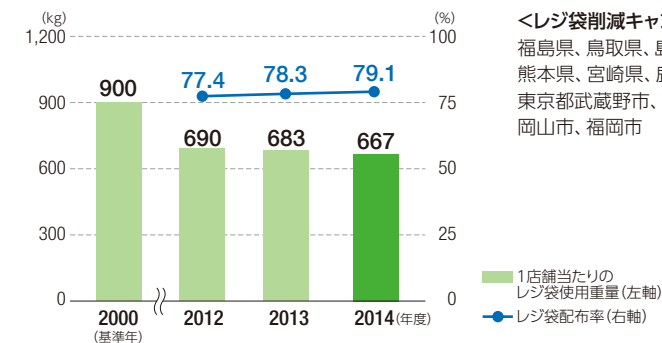
2014年度の1店舗当たりのレジ袋使用重量は2000年度比で25.9%の削減となり、お客さまへのレジ袋配布率※は79.1%となりました。

※レジ袋配布率:レジ袋仕入れ数÷客数



店頭レジ袋削減啓発ポスター

●1店舗当たりのレジ袋使用重量



<レジ袋削減キャンペーンを行っている自治体>

福島県、鳥取県、島根県、岡山県、福岡県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、仙台市、東京都江戸川区、東京都武蔵野市、岐阜県大垣市、大阪府泉大津市、岡山市、福岡市



「コンビニecoバッグ」の普及

ケータイバッグ431万枚配布

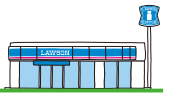
レジ袋を削減するために、購入頻度の高いお弁当とペットボトルがぴったり収まるサイズのケータイバッグ「コンビニecoバッグ」を作成しています。

多くのお客さまにバッグを携帯していただくために、2007年3月から一部のローソン店舗で無償配布をスタート。その後、店頭マルチメディア情報端末「Loppi」での販売、さらにバッグの仕様を公開して賛同企業を募り、社外での普及も進めてきました。

その結果、運動をスタートして8年で配布総枚数は約431万枚※となりました。

※「コンビニecoバッグ」以外のケータイバッグも含まれます。





ローソンの店舗では、商品販売実績などの分析から発注精度を向上させて廃棄商品を削減。売れ残りの食品や調理に使用した油などもリサイクルで再生利用しています。



商品の発注精度の向上 品揃えの適正化により ムダな廃棄を抑制

店舗では、品揃えの適正化によりムダな廃棄の発生を抑えています。天候や曜日指数、地域行事などを考慮して客数を予測し、共通ポイントカード「Ponta」の購入データ※、商品販売実績を分析しながら、品揃え及び発注数を検討することで発注精度を向上させ、ムダな廃棄を減らしています。また、店内で調理を行う「まちかど厨房」では、お客さまの動向に合わせて製造をコントロールすることでムダな廃棄を抑制しています。

※購入した本人を特定できないようにしています。

福岡市における食品リサイクル事例

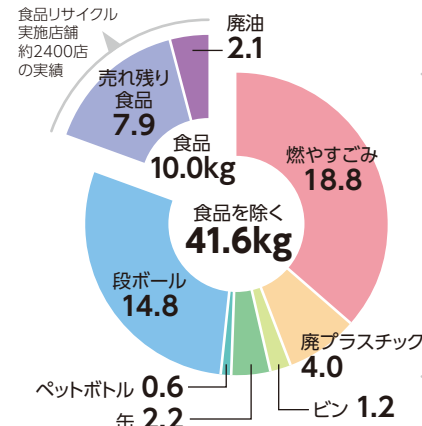
福岡市では、売れ残り食品の飼料化リサイクルを2014年10月から実施しています。店舗から排出される売れ残り食品は、株式会社環境イジェンシーの食品リサイクル工場に運搬され、破碎後、減圧・乾燥により飼料製品に加工、養豚農家や飼料メーカーへ出荷されます。



店舗の売れ残り食品のリサイクルを推進 法定目標36.5%を大きく上回る44.7%を達成

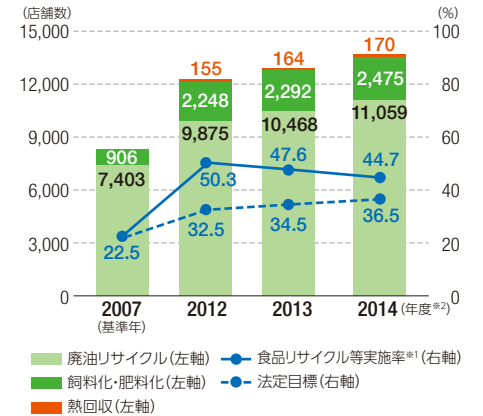
店舗の売れ残り食品（お弁当やおにぎりなど）は1店舗1日当たり7.9kg、揚げ物に使った油（廃油）は同2.1kg排出しています（食品リサイクル実施店舗での実績）。売れ残り食品はリサイクル工場に搬入され、飼料（ブタやニワトリのエサ）や肥料に、揚げ物に使った油は飼料用添加剤（エサの材料）や公共バスの燃料（バイオディーゼル燃料）、無添加石けんなどに再生されます。その結果、2014年度の食品リサイクル等実施率は法定目標36.5%を大きく上回る44.7%を達成しました。

●1店舗1日当たりの廃棄物量推計



※ 食品廃棄物とそれ以外の廃棄物を合計すると51.6kgになります。
※ 2014年4月1日～2015年3月31日で算定しています。

●ローソングループ食品リサイクル実施店舗数の推移



※1 食品リサイクル等実施率は (株)ローソン沖縄と(株)ローソン南九州を除いた数値です。
※2 4月1日から3月31日で算定しています。

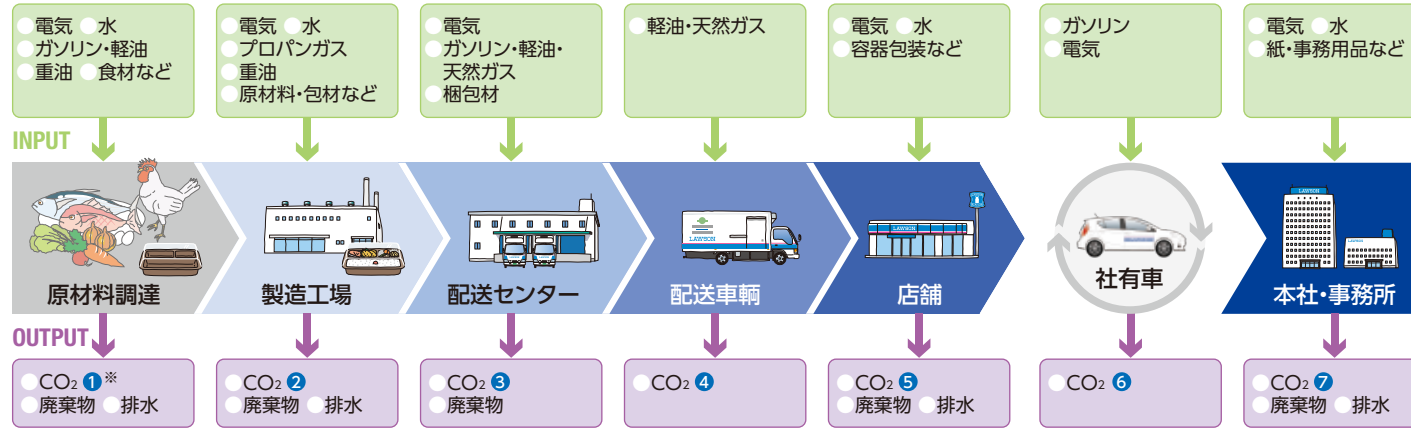
福岡市の食品リサイクルの流れ



サプライチェーンにおける環境への配慮

ローソンは高付加価値の商品を製造し、お客さまの身近なマチで販売する「小商圏型製造小売業」の確立を目指しています。そのため、原材料の調達から商品の製造、物流、店舗での販売に至るすべての工程への関与を高め、商品開発においてムダなく食材を利用したり、効率的な配送を行うなど、サプライチェーンの効率化に努めています。併せて社会・環境への配慮を図っています。

サプライチェーンにおけるマテリアルフロー



サプライチェーン全体でCO₂排出量を削減

商品やサービスを提供するにあたり、サプライチェーンでは電気・ガソリンなどのエネルギーや水などの資源を使用し、CO₂や廃棄物などを排出しています。これらの環境への負荷をできるだけ小さくするために、原材料の調達から商品の製造、物流、店舗での販売に至るサプライチェーンの各段階で発生するCO₂排出量を把握し、その削減に向けたさまざまな取り組みを行っています。

ローソンにおけるCO₂排出量の第三者検証

ローソンでは、CO₂排出量を正確に把握するために一般財団法人日本品質保証機構（JQA）によるISO14064-3に基づいた検証を受けています。

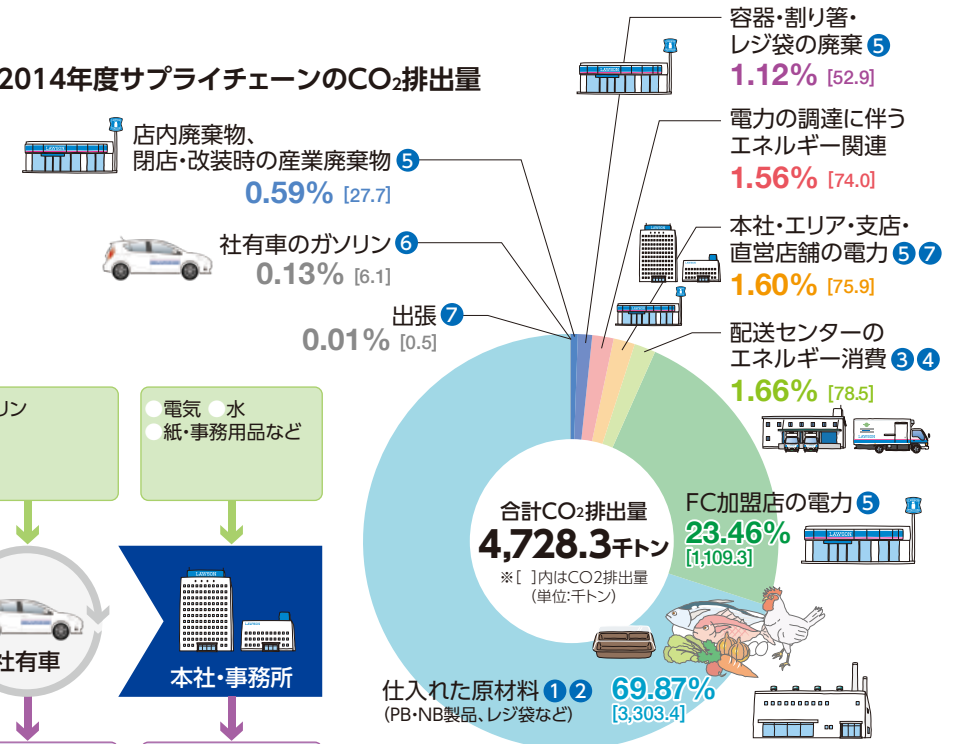


温室効果ガス排出量検証報告書

●CO₂排出量算定ルール

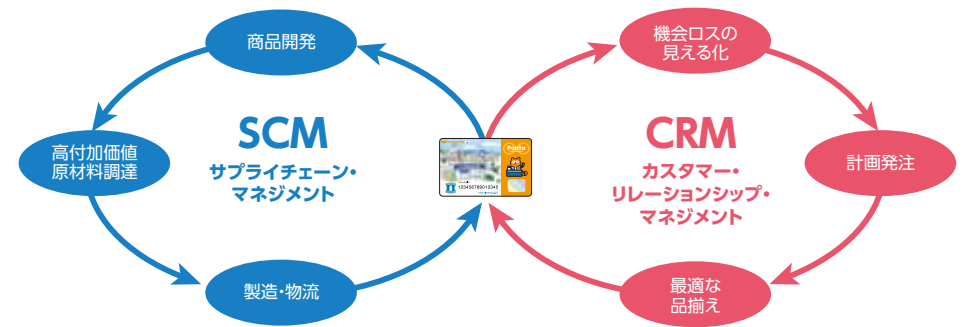
検証対象	社有車の使用、ローソン及びナチュラルローソン、ローソンストア100、ローソンマート12,723店舗、店舗で販売するために購入した製品・サービス
対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日(行政年度)
対象項目	社有車のガソリン使用及び店舗の電気使用、購入した製品・サービスにおけるCO ₂ 排出量

2014年度サプライチェーンのCO₂排出量



サプライチェーンを通じた、温室効果ガス排出量の算定方法基本ガイドラインに関する業種別解説(小売業) Ver.1.0に基づき算定

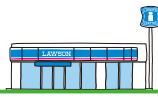
ローソンSCM-CRMモデル



調達から販売までのプロセスを総合的に管理し、全体工程の効率化と最適化を実現する経営管理手法

顧客の個別ニーズに応じて商品やサービスを提供する経営マーケティング手法

地域社会の一員として



マチの皆さまと取り組む美化活動

地域社会の一員としてマチをきれいに

各地の自治体や企業、市民が一体となって取り組む河川や公園などで行う美化活動に、地域社会の一員として参加しています。FC加盟店オーナーや店長、クルー（パート・アルバイト）、そしてローソン本部の従業員やその家族、お取引先さまも参加し、ごみ拾いを行うことで、地域の人々とともに自分たちの住むマチをきれいにしています。

参加する



福岡ラブアース・クリーンアップ

日時:2015年6月7日(日)
参加者:85人(全体1,015人)
場所:福岡市中央区・大濠公園・舞鶴公園
約90袋分のごみを回収
1994年から継続して参加しています。



荒川クリーンエイド

日時:2014年11月15日(土)
参加者:76人
場所:東京都江戸川区・荒川河川敷
計58袋のごみと粗大ごみ31個を回収
1994年から継続して参加しています。

各地で開催される環境イベントに参加

「ローソン緑の募金」の活動をアピール

各地の自治体で開催される環境イベントにも参加しています。「ローソン緑の募金」の活動をアピールするブースを出展し、来場の皆さまに環境保全への関心と理解を深め、楽しく学んでいただく取り組みを行っています。



仙台エコフェスタ2014

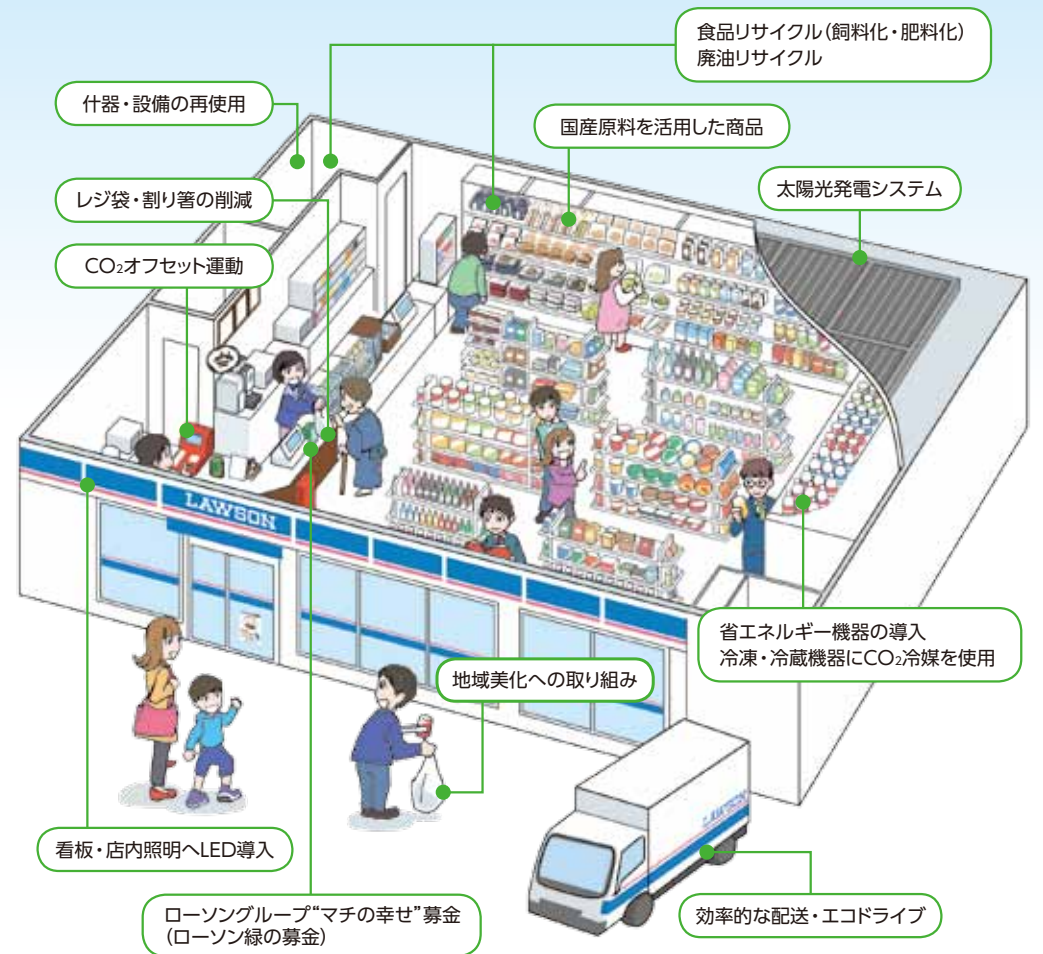
日時:2014年9月7日(日)
場所:仙台市青葉区・勾当台公園 市民広場
2012年から継続して参加しています。



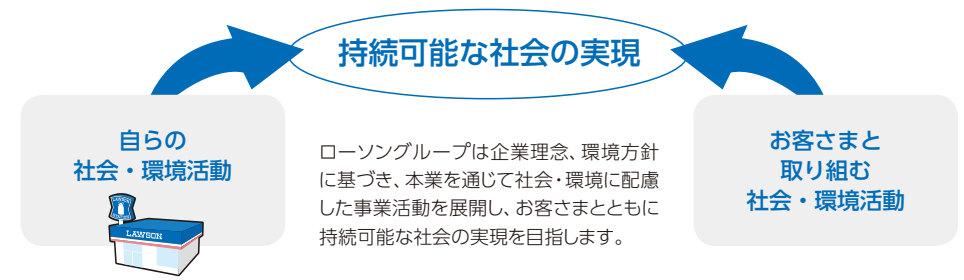
兵庫県「但馬まるごと感動市」
「さわやか環境フェスティバル」

日時:2014年11月8日(土)・9日(日)
場所:兵庫県豊岡市・兵庫県立但馬ドーム
2009年から継続して参加しています。

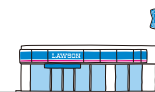
～環境にやさしいお店づくり～



ローソングループの目指す姿



企業情報



会社概要

2015年2月28日現在/連結

社名	株式会社ローソン	事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」 「ナチュラルローソン」「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー	全店舗売上高	1兆9,619億円
代表者	代表取締役 社長 玉塚 元一	総店舗数	12,383店(国内)
設立	1975年4月15日	出店エリア	国内47都道府県・中国(上海市・重慶市・大連市・北京市)・インドネシア・ハワイ・タイ
資本金	585億664万4千円(ローソン単体)		
社員数	7,606人		

注：全店売上高は、国内コンビニエンスストア事業、海外事業及び成城石井の店舗売上高の合計です(連結対象のみ)。なお、成城石井事業については直営の成城石井店舗のみを集計しています。国内店舗数は、(株)ローソンが運営するローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100、(株)ローソン沖縄の運営するローソン、(株)ローソン南九州が運営するローソン、(株)成城石井の運営する直営の成城石井の店舗数の合計です。

店舗展開エリア

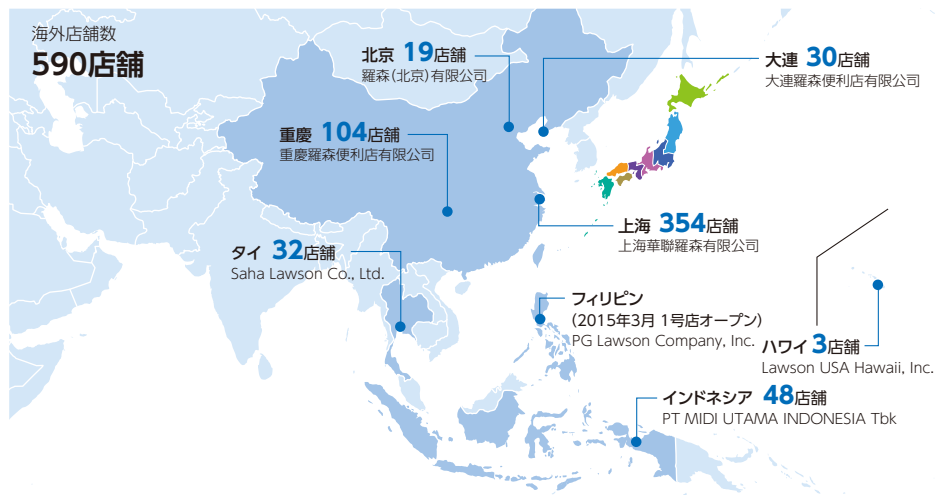
総店舗数(国内外合計)* 12,973店舗

2015年2月28日現在

国内店舗数* 12,383店舗

北海道地方	関東・甲信越地方	中部地方	近畿地方	中国地方	九州・沖縄地方
619店舗	4,211店舗	1,466店舗	2,404店舗	673店舗	1,394店舗
東北地方 961店舗	茨城 150 栃木 141 群馬 93 埼玉 514 千葉 463 東京 1,597 神奈川 862 新潟 130 山梨 111 長野 150	富山 188 石川 102 福井 106 静岡 225 愛知 583 岐阜 151 三重 111	滋賀 155 京都 324 大阪 1,036 兵庫 634 奈良 131 和歌山 124	鳥取 111 島根 117 岡山 145 広島 177 山口 123	福岡 442 佐賀 67 長崎 105 熊本 135 大分 166 宮崎 103 鹿児島 202 沖縄 174
			四国地方 548店舗	徳島 130 香川 122	愛媛 189 高知 107

*総店舗数、国内店舗数は、(株)ローソンストア100、(株)ローソン沖縄、(株)ローソン南九州、(株)成城石井の運営する店舗数を含んでいます。なお、(株)成城石井については、直営の成城石井店舗のみを含んでいます。*地方別、都道府県別の店舗数には(株)成城石井の運営する店舗は含みません。



グループ企業情報

2015年2月28日現在

分野	会社名	分野	会社名
国内コンビニエンスストア事業	(株)ローソン (株)ローソンストア100 (株)SCJ (株)ローソン沖縄 (株)ローソン南九州	コンサルティング事業	(株)ベストプラクティス
エンタテインメント・ホームコンビニエンス関連事業	(株)ローソンHMVエンタテインメント ユナイテッド・シネマ(株)	海外事業	羅森(中国)投資有限公司 上海華聯羅森有限公司 重慶羅森便利店有限公司 大連羅森便利店有限公司 Lawson Asia Pacific Holdings Pte. Ltd. Saha Lawson, Co., Ltd.
金融サービス関連事業	(株)ローソン・エイティエム・ネットワークス	成城石井事業	(株)成城石井

主要な事業とサービスのご紹介

2015年2月28日現在

<p>小商圏型製造小売業で“みんなと暮らすマチ”を幸せにする、ネイバーフッドストア。</p> <p>運営会社 株式会社ローソン 株式会社ローソン沖縄 株式会社ローソン南九州</p>	<p>「毎日だから大切に」をコンセプトに「美しく健康で快適な」ライフスタイルを身近でサポートするお店。</p> <p>運営会社 株式会社ローソン</p>
<p>生鮮食品、惣菜、日用品など多くの商品を100円(税込108円)で販売し、日常生活を簡単・便利に、節約支援するお店。</p> <p>運営会社 株式会社ローソンストア100</p>	<p>世界の食品を世界の街角の価格で提供する、食にこだわる人のためのライフスタイルスーパー。</p> <p>運営会社 株式会社成城石井</p>
<p>CD・DVD等の音楽・映像作品、関連グッズ、書籍等をオンラインや全国53店*のお店で販売するサービス。</p> <p>運営会社 株式会社ローソンHMVエンタテインメント</p>	<p>コンサート・スポーツ・演劇・映画など、あらゆるエンタテインメントのチケットを販売するサービス。</p> <p>運営会社 株式会社ローソンHMVエンタテインメント</p>
<p>本・雑誌・コミックを販売する日本最大級のオンライン書店。</p> <p>運営会社 株式会社ローソンHMVエンタテインメント</p>	<p>ローソン店舗に設置している銀行との共同ATMの設置、管理及び運営事業。</p> <p>運営会社 株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークス</p>
<p>4DX®(体験型上映システム)導入や映画以外のコンテンツの提供を通じ、映画観賞だけでなく、そこで過ごす時間も豊かにするシネマコンプレックス(複合映画館)を運営。</p> <p>運営会社 ユナイテッド・シネマ株式会社</p>	<p>健康とおいしさをお届けするローソンの宅配サービス。ローソンフレッシュの商品以外にも、ローソングループの食品、日用品などの商品も購入できる総合宅配サービス。</p> <p>運営会社 株式会社ローソン</p>
<p>40年前から安心安全でおいしい食材を届ける有機食材宅配のバイオニア。デリカテッセンや農園レストランなどの店舗も運営。</p> <p>運営会社 株式会社大地を守る会</p>	<p>有機・低農薬野菜、無添加食品、環境にやさしい日用品等を扱う国内最大級の自然派商品宅配サービス。</p> <p>運営会社 らでいっしょぼや株式会社</p>
<p>全国22か所にある、ローソングループの店舗向けに青果を生産している農場。</p> <p>運営会社 各地のローソンファーム</p>	<p>ローソンの店舗を拠点とし、ローソングループの商品や佐川急便扱いの荷物のお届けやお買い物、住まい・暮らしをサポートするサービス*。</p> <p>運営会社 SGローソン株式会社* ※2015年6月会社設立、サービス開始</p>